よいち町

議会だより

2019.12
No.193

9月開催の第3回定例会での一般質問
・9議員が町政全般について12項目を質問
P2~P6

第3回定例会・第4回臨時会での主な審議内容
・平成30年度各会計決算を特別委員会に付託
・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書など7件の意見書を可決
P7~P10

～ キッズルームあっぷる ～

親子の交流や子育て相談ができる、子育て支援の窓口として、キッズルームあっぷる【であえーるまほろば（道営住宅集会所）】が開設されています。

講師を招いての「子育て講座」や「親子で制作」など、毎月、わくわくタイムとしてさまざまな催しが行われ、親子で参加できる内容となっています。

令和元年

第3回定例会・第4回臨時会

令和元年9月17日～20日に開催された第3回定例会での一般質問及び審議結果、11月5日開催の第4回臨時会の審議結果などを要約してお知らせします。

一般質問

第3回定例会での一般質問は、9人の議員から12件の町政全般に対する質問がありました。

吉田浩一議員（民友クラブ）

ソーラン祭りと味覚祭りについて

質問　吉田議員　パレードの参加団体が減少しているが、特徴である踊りを統一させることが重要ではないか。

答弁　齊藤町長　講師による踊りのお手本のＤＶＤを希望する団体に貸し出し、配慮をしています。

質問　吉田議員　踊りの審査は何を基準としているのか伺いたい。

答弁　齊藤町長　踊りの統一感や盛り上がり、衣装の統一感や見た目の印象など審査項目を審査員が総合的に審査しています。

質問　吉田議員　商店街が活性化できるような施策を伺いたい。

答弁　齊藤町長　沿道のにぎわいづくりなど積極的にご参加をいただき、祭りの盛り上がりを商店街の活性化につなげていくための方策を関係者の皆様と検討します。

質問　吉田議員　味覚祭りの客層の町内外の割合はいくらなのか、また、祭りに対する住民からの希望はどんなものがあるのか伺いたい。

答弁　齊藤町長　来場者の町内外の計測は行っていません。また、人気商品がすぐに売り切れてしまうので、販売量をふやしてほしいとの要望があります。

質問　吉田議員　味覚マラソンに関しては通行どめや誘導等の苦情が毎年繰り返されているが、どう改善しようとしているのか伺いたい。

答弁　佐々木教育長　広報紙及び沿道の看板等により引き続き周知を行い、警備を依頼する際に同じ問題が繰り返されないよう徹底したいと考えます。

親水公園の川について

質問　吉田議員　フィッシャリーナに隣接する親水公園の川に以前は水が流れていたが、渇水川となっており、どこが管理しているのか伺いたい。

答弁　齊藤町長　管理、清掃は農林水産課で行っています。

質問　吉田議員　なぜ水が流れていないのか。

答弁　齊藤町長　水の滞留等による虫の発生等もあり、今年度は通水を休止しています。

質問　吉田議員　水辺と親しむといういい施設であるが、子どもが足を入れるような状況ではないことから、清掃や今後の活用について伺いたい。

答弁　齊藤町長　公園は町の施設ですが、余市漁港全体の管理者の北海道とも話をして検討していきます。

親水公園

大物　翔　議員（日本共産党議員団）

難聴者支援と制度創設について

質問　大物議員　補聴器の購入に関する公的な助成を余市町でも検討、実施することが必要と考えるが、難聴者の人数や実態の調査、補聴器購入の助成に乗り出すことに対する、見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　重度難聴者は85名、うち補聴器交付者は50名で、中度、軽度の難聴者の人数や実態は把握しておらず、障がい者手帳が交付されていない方で補聴器が必要な方については、国の制度改正を注視し、情報収集に努めます。

質問　大物議員　障がい者手帳交付の段階は、40センチぐらい離れている人が普通の声で話していても両耳で聞き取れないレベルであり、ここまでいかないと障がい6級には該当しないことから、まず実態把握が大事ではないか。

答弁　齊藤町長　重程度の方に関しては国で一律的にやっているので把握できるが、それ以外に関しては町として全容を把握し切れないという状況です。

質問　大物議員　ヒアリングループなどの支援設備の公共施設への導入や、貸与の考え方について伺いたい。

答弁　齊藤町長　公共施設への設置につきましては、要望も上がってきていないものですから、補聴器の今後の普及状況も踏まえながら、個別具体的に見ていきたいと考えます。

産休明け保育の充実について

質問　大物議員　産休明け保育に関する見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　ニーズも踏まえ、保育の受け皿を確保することが必要と考えております。

質問　大物議員　ここ数年の出生数について伺いたい。

答弁　齊藤町長　過去5年間の平均出生数は１０１人です。

質問　大物議員　小樽市内の保育所に預けられている人数とゼロ歳児の人数について伺いたい。

答弁　齊藤町長　入所している数は2人、産休明け保育を利用しているゼロ歳のお子さんの人数は1人です。

質問　大物議員　平均１００人ほど生まれる子どもがいることを考えれば、逆に需要がないというほうが変だと考えるが見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　町としてはきちんと保健師がヒアリングをすることによって一定程度のニーズは把握していると理解しております。

土屋　美奈子　議員（よいち未来）

国民健康保険の子どもに係る均等割保険料（税）について

質問　土屋議員　家族に子どもがふえると保険料（税）の負担が重くなる仕組みは、子育てに関するさまざまな負担軽減策を進める上で政策の方向と相入れないものと考えるが、見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　子育て世代に対する保険税負担軽減等の支援は必要と考えており、国において子育て支援の観点から支援制度を創設していただくよう関係機関に要望しているところです。

質問　土屋議員　本町での独自の減免制度についても検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　都道府県単位化に伴い、国では決算補填目的とする法定外繰り入れは認められないとされ、減免制度導入に伴い不足が見込まれる財源の確保などが難しいことから、現時点においては町独自に均等割の減免制度を導入するという考えは持っていません。

質問　土屋議員　対象となる世帯数、子どもの人数は何名か伺いたい。

答弁　齊藤町長　平成31年４月１日現在において、子どもの年齢基準を18歳以下とした場合の世帯数は２０１世帯、子どもの人数は３５７名です。

質問　土屋議員　会社員などが加入する社会保険には均等割の考え方がなく、国民皆保険制度の中での医療保険による違いは、公平性の観点からも大きな差が開いているが、見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　公平性の観点でもギャップがどんどん広がっていくという論点も把握しており、さまざまな機会において現行制度の問題点を改善するべく要請をしているところです。

質問　土屋議員　子どもに係る均等割の支援制度創設については、国がなかなか動き出さないことから、苦渋の決断で全国の自治体で独自の減免をする動きが出ており、本町もどこかの時点で検討する必要があると考えるが、見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　独自の均等割の減免措置は法定外繰り入れができないことから、今のところ考えていません。

質問　土屋議員　子どもの貧困、少子化の観点、子育て支援という観点からの支援策として、見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　さまざまな支援体制について国として取り組むよう、引き続き要望します。

山本正行議員（よいち未来）

「道の駅」の方向性について

質問　山本議員　道の駅の現状と今後の方向性について伺いたい。

答弁　齊藤町長　現在行っている道の駅の再編整備に係る調査業務については、道の駅のあるべき姿について根本から見直しを行い、ニッカウヰスキー株式会社より無償貸与を受け、第2駐車場として利用している用地について将来的に利用できなくなる可能性があり、多くの再編整備を求める声が寄せられており、道の駅の再編整備が急務であると認識しております。整備手法においては官民連携事業の導入、可能性についても調査を行いたいと考えます。

質問　山本議員　ニッカウヰスキーから継続的に借りることができなくなることで何台置けなくなるのか。

答弁　齊藤町長　道の駅の駐車能力は、第1駐車場が大型5台、小型32台、身障車2台で、第2駐車場が大型2台、小型67台、身障車1台と第2駐車場のほうが大きい駐車能力があります。

質問　山本議員　機能や移転等を含めて全面的に見直しをする中で官民連携事業という言葉があったが、進め方について伺いたい。

答弁　齊藤町長　官民連携事業については、手法も含めて調査の段階です。

質問　山本議員　道の駅は一体型で整備されたのか、単独型で整備されたのか伺いたい。

答弁　齊藤町長　国と市町村で、一体型で整備していると認識しています。

質問　山本議員　移転をした場合、現在の道の駅で行っている事業は今後どうなると考えているのか。

答弁　齊藤町長　調査結果を見てから具体的な検討に入ると考えています。

質問　山本議員　周辺で食堂やお店などの影響問題や敷地内で行っている物販施設や宇宙記念館についてどう考えているのか。

答弁　齊藤町長　関連する全てのことを含めまして今調査している段階です。

質問　山本議員　現在の道の駅については再整備で残し、新たに国道か道道の幹線道路に建設する考え方はないのか。

答弁　齊藤町長　道の駅をどうするのか、どこに建設するかも含めて部内で議論をしています。

寺田進議員（公明党）

余市町営斎場の建替工事について

質問　寺田議員　余市町営斎場の建替工事にかかわり次の事項を伺いたい。

①なぜ計画が早められたのか。

②工事着工後ののり面崩壊、崩落、湧水、地すべり等の不具合の経緯と今後の対応について。

③新斎場の中身も含め、計画どおり進めていくのか。

答弁　齊藤町長　①当初の計画では基本設計1年、実施設計1年の2年間で予定しておりましたが、住民要望の高い案件であり、改めて検討した結果、1年間での実施が可能との判断により供用開始を1年間早める計画に変更し、民生環境常任委員会に報告しました。

②昨年4月、敷地造成工事に着手しましたが同年6月、西側のり面で2回、北側のり面で湧水による崩落が発生したため、のり面安定化を図るとともに、湧水抑制のため、のり面にボーリング施工、水抜き対策を実施、さらに本年5月斜面の地すべりが発生したため、大型土のうを設置、押さえ盛り土を施工し、現在のり面、地盤は安定しておりますが、盛り土強化、ボーリング調査などで融雪期まで、観測及び安全対策を図ります。

③のり面安定化後の工事着手となるので、計画どおりの完成は困難で、当初の計画から変わる可能性もあり、現在検討中です。

質問　寺田議員　1年早めた計画は適正だったのか伺いたい。

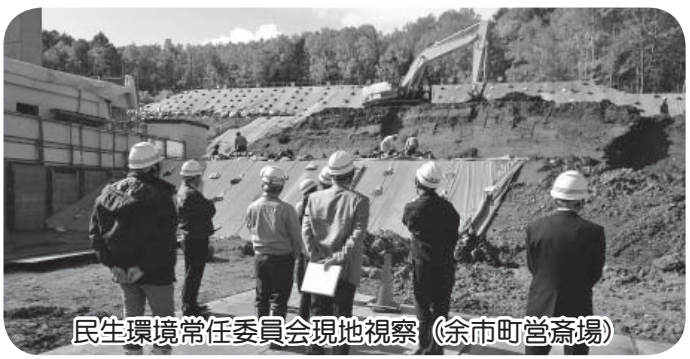
答弁　齊藤町長　設計会社とも協議し内部で議論した上、技術的判断に基づき行ったもので、民生環境常任委員会にも報告しています。

質問　寺田議員　来年の再調査後は、どの時点の工事まで戻るのか、また現在の場所で不可能となった場合の見解を伺いたい。

答弁　齊藤町長　当初の計画どおりに進むことは現時点では想定されず、融雪期の観測後、建物の形状等も含め今後のスケジュールは検討中です。

質問　寺田議員　来年度の供用開始は不可能と思われるが、情報公開、説明責任の上から、町民に情報提供することが必要ではないか。

答弁　齊藤町長　町民の高い期待が寄せられた案件であり、町民に説明する必要があると考えています。



民生環境常任委員会現地視察（余市町営斎場）

安久荘一郎　議員（日本共産党議員団）

自然災害に対する危機管理と防災対策について

質問　安久議員　胆振東部地震や今月の台風15号など本町住民もいつ災害に見舞われるか不安を抱いており、災害時に自分はどこへどのようにして避難すればよいのかわからないとのことから、災害から命を守るためには正確な防災情報を入手することが第一であり、高齢者などは広報車や戸別訪問が頼りだが、その手だてと情報伝達時間はどの程度と想定しているのか。

答弁　齊藤町長　広報車や町ホームページ、緊急速報メール、テレビ、ラジオ、ヤフー防災速報アプリ、印刷物の戸別配布、戸別訪問などにより行い、それぞれの情報入手手段により大きく異なり、数秒から数時間と想定しており、広報車による全世帯伝達はおおむね2時間程度です。

質問　安久議員　地域の自主防災組織は重要であり、区会がその役割を担っているが、これまでの区会の防災活動の成果と反省点を伺いたい。

答弁　齊藤町長　各区会で、余市消防署と連携し、消火訓練や役場職員を講師とした防災学習会が実施されていますが、区会独自で実施しているものは把握できておらず、防災学習会などの実施は少ない状況です。

質問　安久議員　区会での防災学習会は年に何回行っているのか。

大川第７区会防災教室

答弁　齊藤町長　平成29年では防災に関する訓練、学習会は10回行われていますが、区会主催は2回です。

質問　安久議員　避難行動要支援者の個別計画の策定状況と支援する人は何名で、避難訓練はなされているのか。

答弁　齊藤町長　８月末時点で個別計画策定済みは、名簿登載者２８２８人中１８６９人で、支援者の名簿化はされていませんが、民生委員や家族などが想定され、避難訓練については未実施です。

質問　安久議員　自家発電機も整備されている防災資機材備蓄箇所は12カ所で少ないと考えるが増設の予定はないのか。

答弁　齊藤町長　増設の予定については、今後の備蓄計画の見直しの際に指定避難場所の保存スペースや防犯対策、保管場所が被災する可能性を考慮し、総合的に検討したいと考えます。

中谷栄利　議員（日本共産党議員団）

余市町地域公共交通網形成計画について

質問　中谷議員　誰もが安心して住み続けていくためには、交通弱者を支援し、交通空白地域をなくしていくことが重要であり、既存のバス路線の住民生活支援策も必要。大川、栄方面は、生鮮食料品店が少なく、内風呂のない世帯も多く、入浴施設へのアクセスが必要で、高齢化が進む余市町にとって敬老パスなどで生活を支援していくことでにぎわいのある町につながるのではないかと考える。さらに、公営住宅に入居されている方は収入要件も定められている中で生活をしており、自家用車に頼らず、低料金な公共交通で日常生活を支えていくことが急がれる。また、高齢者からは更新時期を前に免許を返納したいと公共交通の実現に期待の声が寄せられている。余市町らしく町民から親しまれる公共交通にすべきではないと考えるが、次の事項について伺いたい。

①（仮称）余市循環線（以下「余市循環線」）の実証運行と本格運行の実施時期について。

②片道利用料金と定期料金について。

③敬老パスの検討と札幌市を例に対象人数、予算規模について。

④栄、登方面、美園、山田方面、梅川、沢、豊丘方面の郊外部における新たな公共交通の運行を早急に進めることについて。

答弁　齊藤町長　①今後各種実態調査の検証を踏まえ、今年度で具体的な運行内容を検討し、令和３年度に実証運行、令和４年度の本格運行を目指しています。

②本格運行の料金体系は、実証運行の実績を踏まえ決定します。

③現在、計画策定中であり、現段階で対象人数や予算規模を見込むことは不可能なことから、今後の公共交通のあり方や活性化の目指すべき姿が整った上で検討します。

④余市循環線の実証運行後、運送方法の選定や具体的な運行内容を検討します。

質問　中谷議員　余市循環線が優先だが、郊外の実証運行、本格運行の見通しを伺いたい。

答弁　齊藤町長　計画では令和５年ごろを想定しています。

質問　中谷議員　住民要望を踏まえると遅すぎるのではないか。

答弁　齊藤町長　町民意見を踏まえながら進めています。

内海博一 議員（明政会）

農林水産物、食品等の地理的表示（GI）について

質問　内海議員　食の都よいちとして余市ブランド確立のため知的財産として保護する地理的表示法によるＧＩの活用について町長の考えを伺いたい。

答弁　齊藤町長　ＧＩは、地域で生まれた伝統と特性を有し、その高い品質等が生産地と結びついている農林水産物や食品等の名称の表示で、知的財産、ブランド価値の保護が図られることや産品の特性が明確になり、生産方法の共通化が図られることなど、生産者団体がみずからの産品の価値を再確認し、品質管理の重要性を認識する効果があり、現在北海道では夕張メロン、川西長芋、今金男爵の３つが登録されており、余市でもＧＩを有効に活用すべく既に私らは担当部局には指示を出しています。生産業者の多くが会員、組合員として組織化されていることなどといった要件があり、関係機関に働きかけたいと考えます。

質問　内海議員　北海道では３件のＧＩ登録があるが、登録前との価格の上昇や数量の変化等について伺いたい。

答弁　齊藤町長　登録前と後でどう変わったかについての資料はありませんが、登録によってさまざまな企業が着目して、そして知名度が向上する、そして海外の場合は産地が守られていることが重要になってくることから、販路の拡大にもつながっていく効果があると考えます。

質問　内海議員　地理的表示産品を核としたイベントの開催、観光との連携、自然、歴史を含めた地域活性化と６次産業化を目指しＧＩ申請のための講習、指導や登録免許税の９万円に対する補助について伺いたい。

答弁　齊藤町長　農林水産課へは、生産者みずからが組合としてやっていく必要があり、生産者を巻き込み、引き続きＧＩのメリットを伝えるようにしていきたいと考えており、ご指摘の登録料については、動きがあれば補助をする予定ではあります。

白川栄美子 議員（公明党）

黒川８・９丁目交差点の渋滞解消について

質問　白川議員　黒川８・９丁目交差点は、以前より山田町方面から来る直進車が優先のため対向車線の右折車が進まず、高速道路が開通して以来交通量もふえ、より一層渋滞を引き起こしており、右折矢印信号機を設置することで渋滞が解消されるのではと多くの住民の声が寄せられており、交通安全の観点から町としての見解を伺いたい。

黒川８・９丁目交差点

答弁　齊藤町長　以前警察と協議をしましたが、早く右折しようとする車両が踏切の一時停止を怠り、大事故になる危険性があると回答を得たところでありますが、議会や町民の声があることを踏まえ警察に強く申し入れます。

質問　白川議員　右折矢印信号機が設置できないのであれば、山田町方面から来られないように一方通行にする考えなど、いろいろな機関と協議するべきではないか。

答弁　齊藤町長　一方通行にする考えも踏まえて、さまざまなやり方があると思いますが、交通事情も変わっており、交差点は公安委員会ですが、再度警察のほうに強く申し入れたいと考えます。

中学校入学時に制服の一部を助成する考えについて

質問　白川議員　中学校入学時に指定された制服、ジャージ、運動靴等など全て揃えるとなると７、８万円の費用がかかり子育て中の親の負担は大きく、一部助成してほしいとの声があるが考えについて伺いたい。また、就学援助制度の現状についても伺いたい。

答弁　佐々木教育長　一部助成の考えについては、財源も含めて現状では難しい問題と考えており、就学援助については、中学校在学全世帯数３９０世帯のうち要保護世帯16世帯、準要保護世帯83世帯、どちらにも該当しない世帯２９１世帯となっております。

質問　白川議員　就学援助世帯の現状で該当しない、はざまにいる世帯が多いと考えるが、制服の半分助成との声もあり、段階的にジャージだけでも一律に補助する考えはないのか。

答弁　佐々木教育長　教育も含めた中で、子育てという部分で全体的に物事を考えていかなければならない事案で、今後の研究課題とさせていただきたいと考えます。

審議内容

補正予算の審議結果

（第３回定例会での補正予算）

□令和元年度一般会計補正予算（第４号）

寄附に伴う基金への積立金、余市協会病院バス路線運行維持対策事業補助金、教育・保育給付費負担金、施設等利用給付費負担金、農業用排水路護岸補修工事費の追加計上で４２３１万２千円を追加し、**歳入歳出予算総額を95億１５１１万９千円としました。**

□令和元年度介護保険特別会計補正予算（第２号）

介護給付費国庫負担金等返還金の追加計上で、３８５１万５千円を追加し、**歳入歳出予算総額を24億６６８８万６千円としました。**

（第４回臨時会での補正予算）

□令和元年度一般会計補正予算（第５号）【専決処分】

福祉センター入舟分館の漏水にかかわる修繕費の追加計上で１１０万５千円を追加し、**歳入歳出予算総額を95億１６２２万４千円としました。**

条例案の審議結果

□余市町森林環境譲与税基金条例案

森林環境譲与税の適正な管理運用を図るため提案され、原案のとおり可決されました。

□余市町印鑑条例の一部を改正する条例案

□余市町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案

□余市町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案

□余市町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

□余市町水道事業給水条例の一部を改正する条例案

□職員の分限についての手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例案

関係法令の改正に伴い所要の改正を行いました。

□余市町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

□余市町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

国の定める基準の改正に伴い所要の改正を行いました。

議会を傍聴してみませんか

《次の定例会は 12 月中旬に開催の予定です》

◆本会議については、役場３階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。傍聴定員は３８人となっており、会議当日の先着順となっています。

◆常任委員会や特別委員会については、委員長の許可を得なければ傍聴できないことになっていますが、プライバシーにかかわる審議など特別の事情がない限り傍聴を認めています。

※詳しい日程などをお知りになりたい方は、議会事務局（TEL 21-2132）へお問い合わせください。

水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

□平成30年度余市町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金について、３５５４万５６９７円のうち１００万円を減債積立金に積み立て、残余を繰り越すことを可決しました。

固定資産評価審査委員会委員を選任しました

余市町固定資産評価審査委員会委員の欠員に伴い、次の方を選任しました。

（新）小田　寛氏

積丹町・赤井川村の旅券申請及び交付に関する事務の受託

令和元年10月１日から積丹町並びに赤井川村にそれぞれ権限移譲される旅券交付申請及び交付に関する事務について、積丹町、赤井川村から事務処理の管理執行を委託したい旨の依頼があり、その事務を受託するため、地方自治法の規定により規約について提案がされ、原案のとおり可決しました。

平成30年度各会計の決算認定について

□平成30年度余市町水道事業会計決算認定について

第３回定例会に提出された平成30年度の水道事業会計の決算については、平成30年度余市町水道事業会計決算特別委員会（岸本好且委員長・安久荘一郎副委員長）を設置し、審査を行っています。

□平成30年度余市町一般会計決算認定について

□平成30年度余市町介護保険特別会計決算認定について

□平成30年度余市町国民健康保険特別会計決算認定について

□平成30年度余市町後期高齢者医療特別会計決算認定について

□平成30年度余市町公共下水道特別会計決算認定について

第４回臨時会に提出された平成30年度の一般会計ほか４特別会計の決算については、平成30年度余市町各会計決算特別委員会（庄巖龍委員長・野呂栄二副委員長）を設置し、審査を行っています。

並行在来線の存続等に関する調査特別委員会を設置しました

北海道新幹線札幌延伸に伴う並行在来線に関する調査を行うため『並行在来線の存続等に関する調査特別委員会』を設置しました。

▼調査の目的

①北海道新幹線の建設の動向及び地域振興について
②ＪＲ函館本線の経営継続を含めた並行在来線の維持・存続について
③国、北海道及び沿線市町村との連携について

▼委員の構成

委員長　庄　巖龍
副委員長　山本正行
委員　野呂栄二
委員　近藤徹哉
委員　藤野博三
委員　寺田　進
委員　中谷栄利

議会のホームページを開設しています

議会のホームページを随時更新し、議会からの情報発信に努めています。

更なる充実に向けて忌憚のないご意見をおよせください。

http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html

要望意見書の審議結果

件　　名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
水産業の体質強化を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣・農林水産大臣
太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	経済産業大臣・環境大臣
義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
生産段階からプラスチックごみ減量対策に取り組むことを求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか３人	原案可決	内閣総理大臣・厚生労働大臣 衆議院議長・参議院議長
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める要望意見書	白川栄美子議員ほか３人	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 国家公安委員会委員長
所得税法第５６条の廃止を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか１人	否　　決	
令和２年度以降の幌延深地層研究計画（案）の撤回と、同センターの廃止を求める要望意見書	中谷栄利議員ほか１人	否　　決	

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

よいち町議会だより
令和元年12月１日発行
No.193（年４回発行）
発行　余市町議会
編集　総務文教常任委員会
〒046-8546
北海道余市郡余市町朝日町26番地
ＴＥＬ　0135－21－2132
ＦＡＸ　0135－21－2144
HP:http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html
mail:giji.gki@town.yoichi.hokkaido.jp

編集後記

ことしは、全国的には台風の年でもあり、特に台風15号、19号、21号による記録的豪雨による土砂災害、床上、床下浸水など多くの方々が被災し、亡くなられた方もおります。被害に遭われた皆様に対し、心からご冥福とお見舞いを申し上げます。

昨今の自然災害には、地球全体の気候変動が関係しているのか、自然の力を改めて思い知らされており、幸いに余市町内においては大きな被害がなく安堵しておりますが、地域での防災について考えさせられるところです。災害が起きてからでは遅いので、事前の学習、訓練などを通して災害に備えることが大事であり、町民の命と財産を守るため、町、議会、町民が一体となって取り組むことが必要と考えます。

今回の議会だよりは令和元年第３回定例会の内容を中心に編集しています。町政に対するさまざまな分野において一般質問を９名により12件行なわれました。

これからも開かれた議会を目指し、多くの方々に議会に目を向けていただき、町民が町政に参加しやすい形をつくることを目指し、さらなる改革を進めることが必要と考えています。

総務文教常任委員会
副委員長　山　本　正　行

この用紙は再生紙を使用しています。

審議内容

◇産業建設常任委員会　先進市町村行政視察

産業建設常任委員会では今後の委員会審査の充実を図るため、静岡県函南町で道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」について、愛知県南知多町で６次産業化の取り組みについて研修を行いました。

◇議会運営委員会　先進市町村行政視察

議会運営委員会では今後の委員会審査の充実を図るため、三重県伊賀市議会、愛知県岩倉市議会で議会改革・活性化の取り組みについて研修を行いました。

◆議会日誌◆

９月

１３日　議会運営委員会
17～20日　第３回定例会
１９日　議会運営委員会
２０日　水道事業会計決算特別委員会
２０日　並行在来線の存続等に関する調査特別委員会

10月

３日　北後志衛生施設・消防組合議会
４日　産業建設常任委員会
７日　民生環境常任委員会
８日　総務文教常任委員会
９日　天塩町議会行政視察来訪
１１日　議会運営委員会
15～18日　産業建設常任委員会行政視察
１７日　総務文教常任委員会
２１日　北しりべし廃棄物処理広域連合議会
23～25日　北後志町村議会議長会行政視察
２３日　民生環境常任委員会
２４日　栃木県日光市議会行政視察来訪
２５日　産業建設常任委員会
28～30日　議会運営委員会行政視察

11月

１日　議会運営委員会
５日　第４回臨時会
５日　各会計決算特別委員会
５日　議員協議会
８日　千葉県千葉市議会行政視察来訪
１２日　並行在来線の存続等に関する調査特別委員会
１２日　北海道横断自動車道中央要望
１３日　町村議会議長全国大会
１５日　水道事業会計決算特別委員会
１８日　総務文教常任委員会